

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	KTC放課後等デイサービス はぐぼん福大前		
○保護者評価実施期間	令和7年2月12日		～ 令和7年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和7年2月12日		～ 令和7年2月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月6日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	普段から利用者様、保護者様との関わりを十分にいき、ニーズや課題を客観的に分析し、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていること。	保護者会を定期的に開催し、保護者様が普段の利用者様の様子を参観できる場を設けたり、保護者様達で不安や相談が出来る場を設けたりしていること。	利用者様、保護者様のニーズをより明確に把握するために、より一層、利用者様や保護者様との関わりを増やしていき、スタッフ間での情報共有を随時行うミーティングを開いている。
2	スタッフ間で毎日ブリーフィングを実施し、利用者様、保護者様の問題点などを話し合っている。知らなかったという事をなくすために、小さなことでもLINEWORKSにて情報共有を随時行っていること。	毎日のブリーフィングなどで問題点や心配な点を話し合い、場合によっては、こちら放課後等デイサービス側から、相談支援員様や他の放課後等デイサービス様を召集し、担当者会議を開催したりしていること。	保護者会を来年度も定期的に開催し、保護者様通しの横のつながりのきっかけ作りを行い、保護者様満足度を追求していく。
3	利用者様が楽しく、安心して利用してくれていること。	小学校、中学校、支援学校はもちろんのこと、利用者様の通っていた保育園や、幼稚園を訪問して情報共有を行っていること。	LINEWORKSの活用により、もれのない情報共有を行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ワンフロアの為、聴覚過敏の利用者様、気持ちを落ち着かせたい利用者様がいても物理的に離すことが出来ないこと。宿題スペースと運動スペースのしきりが無いため、宿題をする利用者様は集中して出来ないこと。	フロアの構造上の問題ではあるが、パーティションを設置するのか、そもそもワンフロアの利点を活かすために逆にパーティションを設置しない方が良いのかなど話し合いを設けていなかった。	スタッフ間で、構造上難しいからこそ、他の解決策がないのか、ミーティングを行っていく。また、他の事業所とのかにも話を聞いて見る。
2	地域との関わりが少ないこと。近くの介護施設や、社会福祉協議会、児童館などの横のつながりをもていないこと。	利用者様の特性を鑑みて、横のつながりを設けていなかった。	受動的にならず、能動的に行動を起こしていく。老人ホーム、就労支援施設、他の放デイ、色々な所に、こちらから、声掛けしてつながりを作っていく。
3	スタッフの人員。人員配置的には配置できているが、1人の利用者様に対して、一人のスタッフがつかないといけないう事があるので、人員配置以上のスタッフの確保が望ましいこと。	以前から、人材確保に動いていたが、なかなか見つかっていなかった。採用担当にまかせっきりになっていた。	人材確保に関しても、能動的に動いて、スタッフの知り合いなど一緒に働いてくれる方を見つけることをしていく。4月からは、2名スタッフが増える予定。